

## モジュール型中級後期教科書の学生による評価（2）

宮内 俊慈

### 要旨

関西外国語大学留学生別科の中級後期のクラスにおいては、2008年度より本校教員の高屋敷（2012）により開発されたモジュール型教科書を使ってきた。当教科書は、ドラマを対象としたユニット7を除き全6ユニットから成り立っているが、2014年の夏にユニット1の改訂を行い、秋学期のユニット4まで終了した中間試験の時点で学生の評価アンケートを実施し、前回の紀要にその結果を報告した。2015年の夏にはユニット6の改訂を行い、その秋から試用を始めた。本稿は、前年の報告に引き続き、今回変更されたユニット6を含め、この中級後期の教科書に対する学生間の評価を調査し、どのような問題点やニーズがあるのかを確かめるアンケートを実施したので、その結果を報告するものである。

【キーワード】 モジュール型教材、接触場面、ディスカッション

### 1. はじめに

関西外国語大学留学生別科においては、2008年秋学期（9月～12月）より中級後期の会話クラス（日本語会話6：Spoken Japanese 6、以下、SPJ6）のメインテキストを独自に開発し使用してきた。開発は、本校教員の高屋敷（2012）が行い、モジュール型教材が採用された。モジュールというのは、岡崎（1989）によれば、「教科書のように特定の順序に沿って一つ一つの課を学習するタイプの教材とは違い、学習者が既に学習し終わっている項目から一定程度独立して使えるようにした教材」である。高屋敷（2012）はこのモジュール型教材を採用した理由として、中上級レベルでは学習項目の提出順序を積み上げ方式で行っていく必要性が低いことと常に変化する学習者のニーズに柔軟に対応できることの二つを挙げている。

こうして開発された SPJ6 の教科書であったが、社会情勢の変化と共に実際と合わない状況が出現し、途中で内容が変更されたものがあり、筆者が担当した 2012 年の秋学期の時点での各ユニットのタイトルは、以下のようになっていた。

Unit 1 「Mixi、やってる？」

Unit 2 「交通機関のマナー」

Unit 3 「夫？主人？」

Unit 4 「ユニクロ、MUJI は海外で成功するか？」

Unit 5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」

Unit 6 「外国人労働者、受け入れますか？」

Unit 1 は、当時流行し始めていたソーシャルネットワーク（SNS）の Mixi が取り上げられていたが、近年は日本においても SNS としては Facebook が使われるようになり、さらに、日本においては主にパソコンを使う SNS よりスマートフォンを使った LINE が若者の間で一般的になってきた。そのため、Unit 1 のダイアログの内容が時代に合わないものとなり改訂が必要となってきた。そこで、2014 年の夏にトピックを LINE にすることにして Unit 1 を改訂した。そして、その秋学期より新しい Unit 1 の試用を始め、Unit 4 まで終了した中間試験が終わった段階で学生間の教科書に対する評価をアンケート調査した。その詳細を報告したのが前回の紀要の報告である(宮内 2014)。

今回は、Unit 6 の改訂に着手した。今回の改訂の候補として考えられたのは、Unit 4 「ユニクロ、MUJI は海外で成功するか？」と Unit 6 「外国人労働者、受け入れますか？」であった。Unit 4 が候補に挙がったのは、前回の調査で学生間のトピックに対する興味が一番低かった（宮内 2014）ことが主な理由である。Unit 6 は、少子高齢化に伴う日本の労働力不足を補うために外国人労働者を受け入れるという問題を扱っていたが、学生の日常生活からは少しかけ離れたトピックであり、また、内容的にも少し高度なものになっていたため、今ひとつ学生の中での受けが悪いように感じられた。前回の調査では、Unit 6 はアンケートの対象外になっていたため、実際の数字は把握できなかったが、より留学生の興味関心に沿うものとして、日本人学生の就職活動事情と外国人留学生の日本での就職活動についてのトピックに切り替えることに決定した。Unit4 は、ビジネス関連のトピ

ックで、前回の調査でトピックの面白さに関しては評価が低かったものの、内容そのものに関しては高く評価されていることを考慮に入れて、今回は残すことにした。

改訂作業は Unit 1 の改訂の時と同様に、本文ダイアログの作成、単語リストの作成は高屋敷が担当し、それ以降のテキストとしての編集作業は筆者が担当した。改訂の内容も前回の Unit 1 の改訂の時と同じように、ユニットの中で取り上げた文型はそのままにし、既存の単語リストもできる限り変更を加えずに行った。そのため、文型の説明パートや文型練習のパートは大幅な変更をすることなく改訂することができた。

## 2. 改訂内容

今回改訂された主なものは、Unit 6 のメインダイアログなので、その改訂前のもの（図 1）と改定後のもの（図 2）をここに転載する。

### 2.1 改訂前のダイアログ

図 1 改定前のダイアログ

がいくじんろうどうしや う い  
**Unit 6 外国人労働者、受け入れますか？**

会話 1

【ジョンとアンは、日本の外国人労働者問題についてレポートを書くことになったので、大学で労働問題を専門にしている大槻教授にインタビューをしています。】

ジョン： 大槻先生、今日は、お時間をいただきまして、誠に有難うございました。  
よろしくお願ひいたします。

アン： お願いします。

大槻： いいえ、こちらこそ、よろしく。

アン： では、早速ですが、始めさせていただきます。今、日本に限らず、世界の先進国では、少子高齢化で労働者が不足しているという問題があると思います。私たちが調べたところによりますと、2030年の日本の労働者人口は、現在の数と比べて、1千万人も減るのではないかと見込まれているそうです。

ジョン： それで、外国からの労働者を受け入れて、不足する労働力を補っているわけですが、現在、合法的な外国人労働者数は、2006年では、およそ75.5万人ということで、ちょうど10年前の1996年の数と比較すると、倍になっているそうですね。

大槻： そうですね。おっしゃる通り、確かに外国人労働者は増加していますが、問題点がたくさんあるんですよ。日本では、今まで語学教師をはじめ、高度技術者、研究者、ダンサーなど「専門的・技術的分野」では、積極的に外国人を受け入れてきたのです。しかし、一方で、単純労働者の受け入れには慎重だったんです。それが、1990年代のバブル期に日系ブラジル人を「定住者」として多く移住させ、建設業や製造業の人手不足を補ったんです。

アン： つまり肉體労働をさせたということですね。

ジョン： ああ、「危険、汚い、きつい」仕事、3Kのことですね。

大槻： ええ、そうです。そして、1993年には、技能実習制度を設けて、中小企業の製造業や農業の現場で中国人の実習生をたくさん受け入れ始めました。

アン： はい、私たちもそれは調べました。研修と言っても、低賃金で長い時間、工場などで単純労働をさせられるケースが多いそうですね。

ジョン： 研修先から逃げたり、失踪したりして、不法滞在している外国人労働者も多いと聞きました。

大槻： ええ、残念なことに、その通りなんです。単純労働者は受け入れないという原則と日本人がやりたがらない3Kの単純労働を外国人にやってもらいたいという本音とのギャップが大きいんですね。

アン： 確かに、難しい問題ですね。アメリカでもメキシコ人の単純労働者の不法入国、不法滞在が問題になっています。



## 会話2

ジョン： では、外国では、外国人労働者のために、どのような制度があるのでしょうか。

大槻： そうですね。アメリカでは、定住を前提にした移民が中心です。

アン： なるほど、移民だから、市民と同じように職業が自由に選べ、選挙権があり、制限が少ないということですね。

ジョン： ええ、しかし、確かに自由競争は、いいかもしれないですが、英語が上手じゃない移民の職業はやはり、タクシーの運転手をはじめ、コンビニの店員や製造業の工員などアメリカ人に人気がない仕事が多いと思うんです。貧しい移民は、いい教育も受けられないし、彼らが社会的に成功するのは、大変なことだと思います。

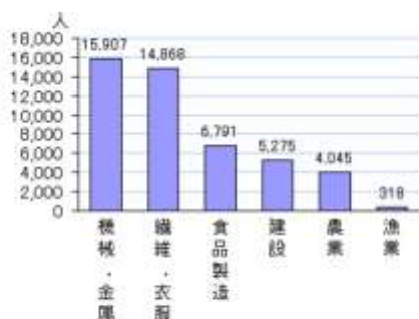
アン： ええ。フランスでも、社会に不満を持っているアラブやアフリカ系の移民の暴動が起きたよね。

大槻： そうですね。外国人労働者にとって、言葉や文化、宗教が問題になることが多いと思いますが、特に言葉の問題は深刻なことなのかもしれませんね。ドイツでは、新たに入国する外国人に600時間のドイツ語の講座を受けることを義務付けています。フランスでも300～500時間、フランス語を学ぶ必要があるそうです。

アン： なるほど、それはいい制度ですね。欧州では、外国人労働者は、自由に職業を選んで就労できるのでしょうか。

大槻： ドイツでは、高度技能者以外の単純労働者の場合、ドイツ国内の需要を調べて、足りない分野だけ受け入れているそうです。

外国人技能実習生が働く業種



(注)国際研修協力機構調べ  
(資料)朝日新聞2008.7.6

会話3

アン：ここ数年の傾向といたしまして、フィリピンやインドネシアから看護や介護の分野で看護師や介護士として来日する労働者に期待が高まっているそうですね。これに関して、何か問題がありますでしょうか。

大槻：ええ、彼らのための社会保障制度を新しく作ったり、介護士として働くために必要な日本語を身につけるための学校を増やしたりする必要があるのでしょ。

ジョン：しかし、受け入れに反対する人もいるそうですね。

アン：ええ、「専門的な高い知識や技術を持っている外国人は受け入れていいけれども、単純労働者を受け入れたせいで、犯罪が増える傾向にある。」のではないかと言う人もいるようです。

大槻：悲しいことに、そのようなステレオタイプを信じる人がいるのは、本当ですね。しかし、もっと国際的センスが身につけられるように、様々な外国人といっしょに働くのはいいことだという意見の人も多くいます。

アン：なるほど。様々な外国人と一緒に生活するからこそ、わかることがあるということですね。

ジョン：今、世界的な不景気ですが、こういう時に一番影響を受けて、最初に首になるのは、外国人の単純労働者だと思います。彼らの人権を守るために、やはりこれからも様々な問題を解決し、外国人労働者が安心して暮らせるような社会を創っていかなくてはいけないと思います。

大槻：その通りですね。お二人とも、よく調べて、勉強していますね。

アン：有難うございます。これから、もっとこの問題について調べて行きたいと思っています。



## 2.2 改訂後のダイアログ

改訂後のトピックは日本人学生の就職活動、「就活」を取り上げることにしたが、そのダイアログを考える時に考慮されたことは、高屋敷(forthcoming)によれば、「昨今、外国人留学生を対象とした有給のインターンシップを行う日本企業が増加しており、本学でも昨年からは留学生を対象としたインターンシップが始められていること、日本人学生のみならず留学生対象の就職サイトが増えていることなどを考慮して、本文の内容を考えた。また、アメリカ人留学生が日本人学生の就職活動について、本学の学生が3年次に急にスーツを着用し、髪を黒く染め直すことを目の当たりにし、「なぜ一斉に同じ髪型、服装で活動が始まるのか？」等、授業後、質問して来ることも度々あったので、アメリカの大学生の就職活動の様子も含め、内定を求めて奔走する日本人学生と比較した内容も盛り込むことにした。」ということである。実際に使用したダイアログは、図2の通りである。

図2 改定後のダイアログ

Unit 6 しょうかつ 就活って何？

会話1

【けんが大学にスーツを着て来たので、ジョンとアンがどうしたのか聞いています。】

ジョン： あ、けん、おはよう。どうしたの？ スーツなんか着ちゃって？

けん： ああ、ジョン。

これ？ 今日 しょうかつ 就活の説明会があるから、スーツ、着て来なきゃいけないんだ。

ジョン： 就活？ 就活って何？

けん : 就職活動のことだよ。日本の大学生はみんな三回生になると、卒業後の就職先を決めるために、活動を始めるんだ。

アン : そうか、それで、今日は同じような黒や紺のスーツを着て来てる学生が多いのね。

けん : うん。

ジョン : でも、まだ三年生なのに、みんな、もう仕事を探し始めるの？

けん : うん。だけど、これでも遅いくらいなんだよ。今までは、就活は三回生の12月に解禁になってたんだ。でも、それだと、学生が大学の勉強や部活に集中できないという不満も多くて…。それで、学生がもっと学業に専念できるように、2016年から就活の開始は、三回生の3月からって決まったんだよ。

ジョン : へえー、そうなんだ。で、就活って、具体的にどんなことすんの？

けん : ええと、企業は就活開始の3月からインターネットのウェブサイトに企業の情報を発信したり、会社説明会やセミナーを開いたりすることができるんだ。だから、僕たち、学生も「マイナビ」をはじめ、「リクナビ」「日経就職ナビ」といったインターネットの就職ナビのサイトに登録して、エントリーシートを送り始めなきゃいけないんだ。それから、できるだけ会社説明会にも参加して、そこでもエントリーシートを書いて出したりするんだよ。

アン : ふうん。で、エントリーシートを送ると、どうなるの。

けん : エントリーすれば、もっと詳しい会社説明会やセミナーの情報をゲットできるんだよ。

ジョン : で、そのあとは？

けん : 企業面接が始まるのは8月からだから、それまでは、会社説明会に行ったり、行きたい会社で働いているOBやOGに話を聞きに行ったりして、面接に呼んでもらえるように活動を続けるんだよ。

ジョン : ちょっと待って。OBやOGって？

けん : え？ old boy とか old girl のことだけど、英語では言わないの？

アン : ああ、卒業生の先輩、graduate のことですよ。男だと alumnus 女だと alumna とも言うよ。

けん : そっか、そうだったんだ。

## 会話2

ジョン : それで、面接がうまく行くと、どうなるの？

けん : 会社から就職の内定をもらえるんだ。たくさん内定をもらって、どこの会社に行くか迷う奴もいれば、12月になっても内定をもらうことができなくて、焦る奴もいるよ。

アン : 焦るって、どうして？ 卒業してから、ゆっくり仕事を探せばいいんじゃない？

けん : 日本で正社員になるためには、大学を卒業してすぐの学生、「新卒」じゃないと、難しいんだよ。だから、就活は正社員になるための一生に一度のチャンスってこと。それに、アメリカに比べると、日本はまだ転職率もあまり高くないみたいだしね…。

アン : へえー。就活って、プレッシャーが大きいのね。

ジョン : うん。日本の就職活動って、なんだか大変そうだなあ。

けん : え？ じゃあ、アメリカはどうなの？

アン : アメリカでは、大学三年生が一斉に就職活動を始めるなんてことはないよ。

アメリカ企業では、決まった時期じゃなくて、社内のポジションが空いた時に募集をするから、それに応募するだけだよ。

けん : へえ、そうなんだ。

アン : うん。それに、入ってすぐに即戦力になることを求められるから、大学で何を専攻して、どんな技術や能力を持っているかが重要になるのよ。

けん : へえ、日本じゃ、大学の専攻は就職のときにあまり関係ないけどなあ…。

それより、コミュニケーション能力や社会常識の有無を見られるよ。会社の仕事は、入社してから、研修期間があるから、そこで決められるんだ。

アン : え、そうなの？ アメリカでは、企業は、学生の成績や経験を重視するから、大学生はしっかり勉強しないとイケないし、夏休みには企業の長期インターンシップに参加して、実際に仕事の経験を積む必要があるのよ。

けん : へえ。そうなんだ。で、アンやジョンは、就職、どうするつもりなの？  
日本で働いてみたい？

アン : ないこともないけど、どうして？

けん : 実は、去年の香港人の留学生の友達が大阪のウェブ・デザインの会社で働いてて、来週、話を聞きに行くことになってるんだけど、一緒にどうかな？

アン : へえ、おもしろそう！ 行く行く！

ジョン : 俺も！



### 会話3

【けん、ジョン、アンの三人は、大阪のウェブ・デザイン会社で働いているOBのサム・ワンを訪問しに来ました。会社の受付で。】

けん : すみません。私、京阪大学の田中健と申します。こちらは留学生のアン・ブラウンとジョン・スミスです。先日、御社のサム・ワン様に面会のアポイントを取らせていただきまして、本日はOB訪問で参りました。恐れ入りますが、企画部のサム・ワン様をお願いできますでしょうか。

受付 : 企画部のサム・ワンですね。少々そちらで、お待ちください。

けん : 有難うございます。

【けん、ジョン、アンの三人は、サム・ワンと話しています。】

サム : そうか。ジョンさんもアンさんも京阪大学に留学中なんですね。懐かしいなあ。

アン : はい、今日はよろしくお願ひします。

サム : いやいや、こちらこそ。で、みんな情報や通信産業、インターネット業界に興味があるんですか？

アン : ワン先輩、今日は誠に有難うございました。はい、私は、大学で情報コミュニケーションを専攻しておりまして、将来、ウェブ・デザインの仕事などもいたしたいと思っております。

サム : ああ…。アン、ジョン、敬語、もうやめようか。なんか話しくいな。カジュアルで行こう！サムと呼んでよ。

ジョン : 有難う。敬語はまだまだ苦手で… (笑)

早速だけど、サムはどうやって日本で仕事を見つけたの？

サム : 僕は留学中に日本で就活をしたんだ。少子高齢化の影響で、日本でも労働力が不足して来てるから、日本企業も外国人を積極的に採用する傾向にあるし、チャンスはたくさんあると思うよ。



アン：へえ、すごいなあ。日本人の学生と同じように就活をしたの？

サム：ううん、ちょっと違っていたよ。例えば、まず「Works Japan」とか留学生向けの就職サイトに登録して、まずエントリーシートを送ったんだ。それから、留学生を対象にしたインターンシップに参加したり、合同説明会にも参加したよ。

アン：でも、面接もあるし、やっぱり日本語能力試験はN1に合格しないとだめかなあ？

サム：そんなことないよ。実は僕、N2しか合格していないんだ。でも、挨拶はきちんと敬語で出来るように練習して、エントリーシートやメール文、履歴書なんかは日本人の友達に手伝ってもらったよ。

ジョン：へえ。でも、やっぱり外国人には難しそうだな。

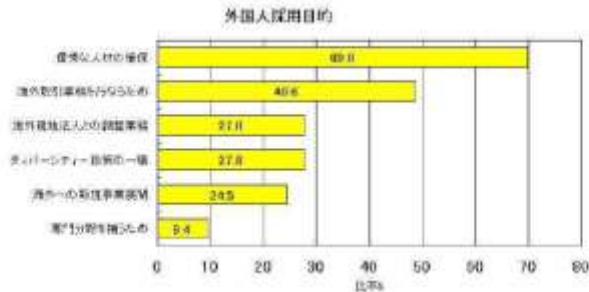
サム：そんなことないよ。ちょっとこれを見て。日本企業へのアンケート調査によると、仕事に必要な外国人雇用者の日本語のレベルは、「報告書などの文書を作成できるレベル」が60.8%で、「ビジネスのやりとりができるレベル」が24.3%、「簡単な日常会話ができる」というレベルが11.7%なんだよ。だから、日本の会社で働くからといって、日本人と同じ日本語力が求められているわけではないと思うよ。

ジョン：へえ、そうなんだ。

サム：うん。僕は今、欧米向けに企業のHPのウェブ・デザインを担当してるんだけど、英語がネイティブの外国人だからこそ、出来る仕事がたくさんあると思うよ。こっちの資料を見て。日本の労働政策の資料によると、日本企業が外国人を採用する理由で、国籍に関係なく「優秀な人材を確保したい」という回答が69.8%もあったし、もちろん「海外取引業務を行うため」という回答も48.6%だよ。

アン：なんだか自信が出て来たな。サム、今日は本当に有難う。

サム：ううん。僕に出来ることがあれば、協力するから、また、いつでも連絡してよ。



すでに述べたように、トピックの変更は行ったが、その中で扱う表現は変えない方針で改訂を行った。図1と図2の両ダイアログを比較してみると分かるが、その中で共通して扱われている表現は以下の7つである。

- (N・V[short-form]と)ころ) によると
- XはYと比べて、XをYと比べると
- ～からこそ

(V[stem]) まして

～をはじめ

(N の・V[dict.]) 傾向にある

～ために・～ように

さらに、使用する単語もできる限り変更がないように考慮された。

### 3. アンケート調査

#### 3.1 調査対象

前回の調査と同様に、今回の改訂に伴いアンケートを実施し、学生の反応を確かめることにした。対象の学生は 2015 年秋学期（9 月～12 月）の SPJ6 の全学生である。アンケートは、学期がほぼ終了する 11 月に授業時間の終わりの 10 分程度を利用して実施した。秋学期の SPJ6 の学生は 26 名（男：12 名、女：14 名）おり、その内 24 名が参加してくれた。アンケートは無記名で実施し、出身国、性別は無記名であったため参加した学生の出身国、男女比のデータは不明である。

#### 3.2 調査内容

調査は、教科書全体に対する質問（3 問）と各ユニットに対する評価（14 問 x 6 ユニット = 72 問）があり、全 87 問であった。全体的な質問としては、「教科書(Packets) は全体的にいいと思う」かどうか、今後「取り上げて欲しいトピック」は何か、さらに、SPJ6 の教科書に対する「Free Comment」を尋ね、ユニット毎の項目としては、取り上げられている「トピックは面白いと思う」かどうか、ダイアログの内容、長さ、難しさ、語彙の多さ、難しさ、練習内容、表現説明の内容、聞き取り練習の内容など 14 項目に渡って詳細に尋ねた。実際のアンケートは添付資料として挙げてある。

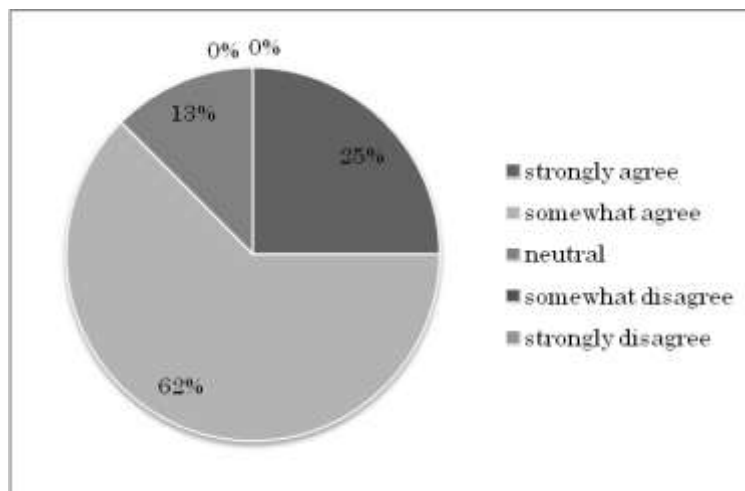
#### 3.3 調査結果

##### 3.3.1 教科書全体に対する質問

まず、教科書全体に対する感想（質問(1)）を求めたが、その結果が図 4 である。その結果、“strongly agree”と “somewhat agree”を合わせて 87%の学生、つまり、24 人中 21 人が「いいと思う」という評価であった。逆に、“strongly disagree”と “somewhat disagree”は、いずれも 0%で 24 人中「悪い」と評価した学生はいなかった。総数 24

名の評価とは言え、全体的には SPJ6 の教科書がかなりの好意を持って評価されていることがわかる。

図4 「教科書は全体的にいいと思う」に対する賛否

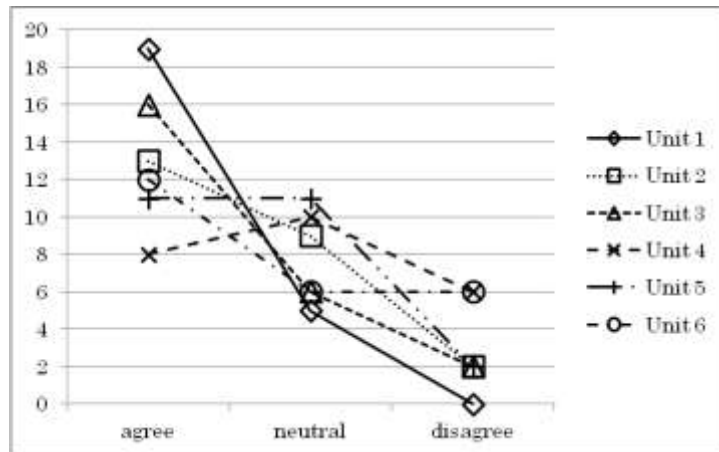


### 3.3.2 ユニット毎の質問

#### 3.3.2.1 トピックについて

ユニット毎にトピックが違うので、それぞれのトピックのついて「面白いと思う」かどうかを尋ねた（質問(2)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図5である。6ユニット全てにおいて、“agree”が“disagree”を上回っているが、ユニット4では、その差がほとんどなく、学生のトピックに対する関心が低いと言える。ユニット4は、「ユニクロ、MUJI は海外で成功するか？」というタイトルで日本のビジネスに関する話題であったが、ビジネスにあまり関心のない学生が多かったのだと思われる。この傾向は、その学期の学生によって大きく結果が異なってくると考えられるので継続的な調査でデータを蓄積する必要がある。ユニット1とユニット3の人気は高いと言えよう。ユニット1は、今回改訂の対象となったLINEについてのトピックであり、ユニット2は、日本のマナーについてである。LINEは、日本人学生のほとんどが使っていることを考えれば、留学生にとっても身近なトピックになるし、日本で生活を始めた留学生にとっては、交通機関におけるマナーの違いはすぐにでも気がつくことであろう。関心が高いのも容易に頷ける。

図5 「トピックは面白いと思う」に対する賛否の比較



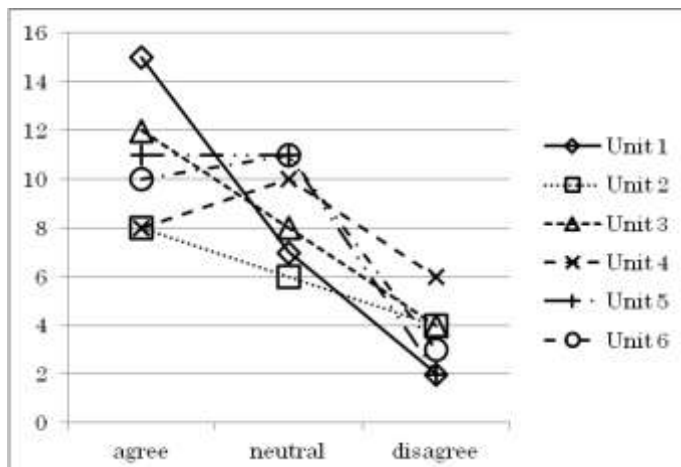
### 3.3.2.2 ダイアログの内容について

次に、実際の教科書のダイアログの内容そのものに対する評価を尋ねた(質問(3))。ユニット毎の比較を表すグラフが図6である。ここでも、6ユニット全てにおいて、“agree”が“disagree”を上回っており、同じく Unit 1 と Unit 3 の評価が高かった。

しかし、ここでも Unit 4 の評価が一番低く(“agree” が 33.3% (24 名中 8 名)、“disagree” が 25.0% (24 名中 6 名))、トピックに対する関心が、そのまま内容の評価にも反映される結果となった。

Unit 6 への評価は、“agree” が 41.7% (24 名中 10 名) で、関心の度合いと同じく 4 番目であった。“disagree” が 12.5% (24 名中 3 名) なので、まずまずの評価であると言えるだろう。

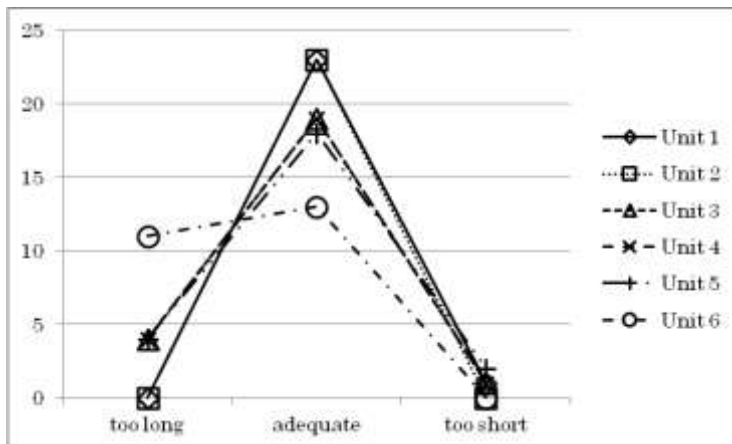
図6 「ダイアログの内容はいいと思う」に対する賛否の比較



### 3.3.2.3 ダイアログの長さについて

次に、同じくダイアログについて、その長さについて尋ねた（質問(4)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図 7 である。長さに関しても、どのユニットにおいても“adequate”が“too long”、“too short”を抑え最も多くなっている。ただ、Unit 6は“too long”の評価が45.8%（24名中11名）出ており、明らかに「長い」と感じている学生の多いことが分かる。実際に、ユニット毎のダイアログの文字数を見てみると（表 1）、多くのユニットが2,000台、Unit 5では2,000以下であるのに対し、Unit 6では4,000を超えているので、多いと感じるのも無理はないと言える。教える側としては、学期の最後に向けて、難易度、量ともに増えていくものだという認識を学生に持ってもらいたいと思うが、少し、他のユニットとの差が多すぎるようである。改訂前のダイアログの文字数が3,318であったことを考えれば、3,000台に収めるべきだったかもしれない。

図 7 「ダイアログの長さ」に対する評価の比較



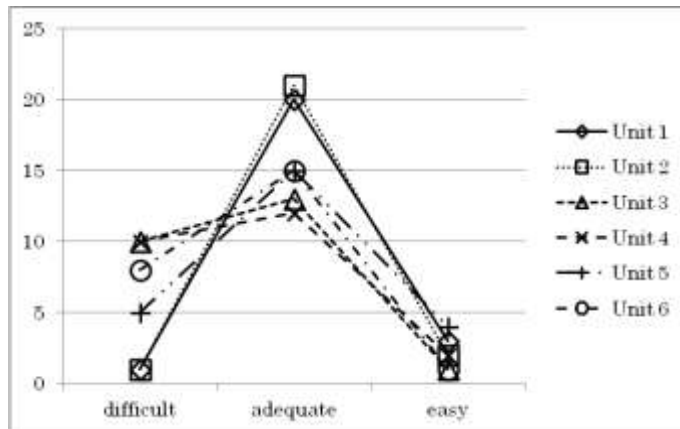
Unit	Unit1	Unit2	Unit3	Unit4	Unit5	Unit6
文字数	2,782	2,288	2,374	2,409	1,901	4,165

表 1 ダイアログの文字数の比較

### 3.3.2.4 ダイアログの難しさについて

次に、同じくダイアログについて、その難しさについて尋ねた（質問(5)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図 8 である。

図8 「ダイアログの難しさ」に対する評価の比較



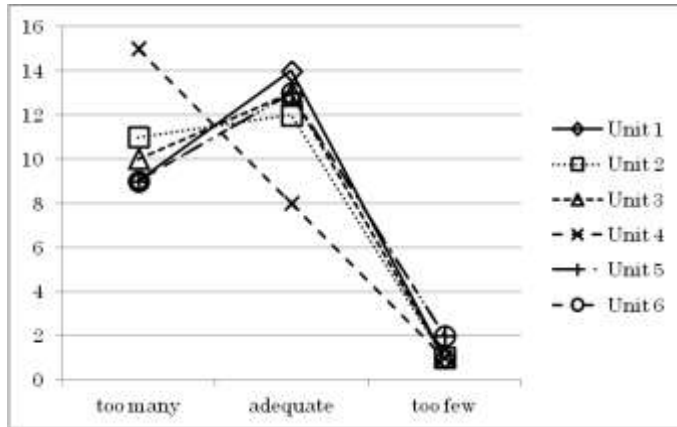
難しさに関しては、ユニット 1、2 とそれ以外で評価が分かれた。いずれのユニットも、「適切」とする評価が一番多かったものの、ユニット 1、2 は、「適切」とする回答が圧倒的に多かったのに対して、ユニット 3、4 は、「適切」と「難しい」とする評価の差がほとんど見られなかった。ここでは、トピックに対する関心の高さの影響があり、トピックが面白いと感じるのと難しいと感じるのは反比例しているように思える。

### 3.3.2.5 単語の数について

次に、単語の数について、その多さについて尋ねた（質問(6)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図9である。単語リスト上の実数は、それぞれ、Unit 1 と Unit 2 が 77、Unit 3 が 51、Unit 4 が 65 である。実数が増えるに従って“too many”と回答する数が増え、“adequate”とする回答が減っていることが分かる。“too few”と回答する学生はどのユニットでも一人もいなかった。

SPJ5 では、各ユニットをほぼ 6 回（50 分 x 6 コマ）でこなしていくスケジュールが組まれている。そのスケジュールで 1 ユニットで 70 を超す単語を覚えていかななくてはいけないのは、中級後期とは言え多すぎるのかもしれない。覚えるべき単語の数を 50 程度に絞り込んでいった方がいいと思われる。

図9 「単語の数」に対する評価の比較

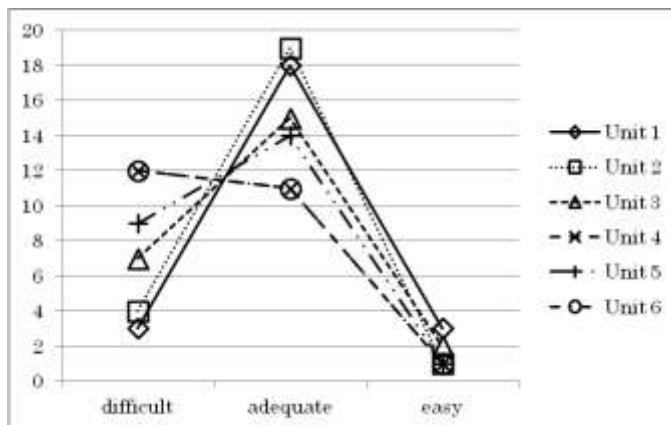


### 3.3.2.6 単語の難しさについて

次は、同じく単語について、その難しさに対する評価を聞いた（質問(7)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図10である。

ここでも、どのユニットも“adequate”の回答が一番多かったが、ユニット1に関しては、単語は多く感じているものの難しさはそれほど感じていないようである。一方、ユニット4は単語の数はそれほど多く思わないにもかかわらず、難易度は高いと感じているようだ。ユニット4はトピックがビジネス関連ということもあり、学生たちに馴染みのない単語がどうしても多くなり、難しく感じてしまうということが背景にあると思われる。

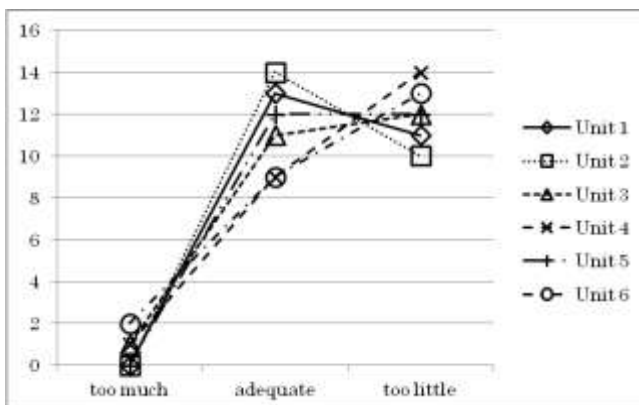
図10 「単語の難しさ」に対する評価の比較



### 3.3.2.7 単語の練習の量について

各ユニットでは、表現練習だけではなく、単語練習の時間も取り入れている。その練習量について聞いた（質問(8)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図 11 である。どのユニットにおいても“adequate”が一番多かったが、今度は実際の単語の数とは逆に数が多いユニットほど練習量が少ないという意見が多い結果となった。特に、ユニット 1 は、他のユニットに比べて“adequate”が少なく、“too little”が多い結果となった。

図 11 「単語練習の量」に対する評価の比較

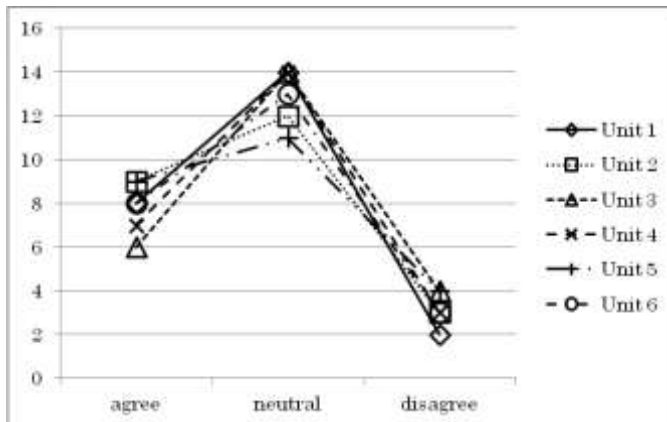


### 3.3.2.8 単語の練習の内容について

その単語練習の内容について聞いたのが次の質問である（質問(9)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図 12 である。ユニット 2、3、4 についてはいずれも、“agree”が“neither agree nor disagree”および“disagree”を上回っているが、ユニット 1 では、“agree”が“disagree”を上回ってはいるものの“neither agree nor disagree”を下回っている。実際の単語の数で言えば、ユニット 1 とユニット 2 は同数であるが、ユニット 2 の評価の方がユニット 1 の評価を上回っている。前項のユニット 1 の練習量の不十分さが内容の評価に影響したようである。



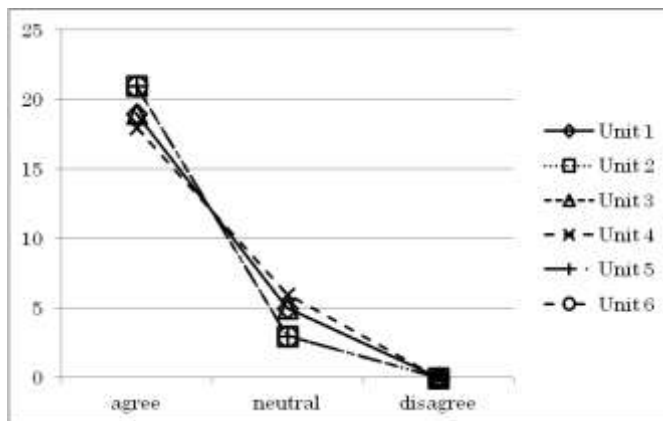
図 12 「単語練習の内容」に対する賛否の比較



### 3.3.2.9 表現の説明について

表現説明の良し悪しに関する評価を聞いたのが次の質問である（質問(10)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図 13 である。

図 13 「表現の説明」に対する賛否の比較



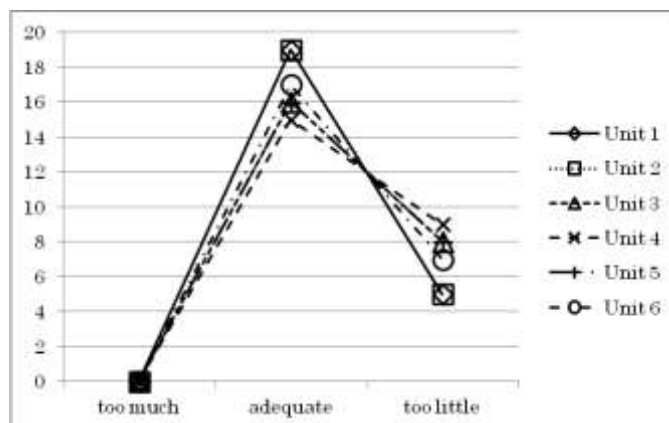
ここでは、非常に高い評価を得ていることが分かる。「説明に満足できるか」という質問に対して、“agree”が4つのどのユニットにおいても70%（20名中14名）を超え、かつ、“disagree”が15%（20名中3名）以下となった。

### 3.3.2.10 表現説明の例文の量について

その説明文中の例文の量について聞いたのが次の質問である（質問(11)）。ユニット

毎の比較を表すグラフが図 14 である。

図 14 「表現説明の例文の量」に対する評価の比較



この質問をアンケートに含めたのは、筆者が過去の授業評価の中で表現説明に対して、「もっと例文を示して欲しい」というコメントをもらったためであったが、今回のアンケート調査においてはどのユニットにおいても 60%以上の学生が「例文の量は適切である」と考えていることが分かった。

### 3.3.2.11 表現練習の量について

次の質問は授業で最も時間を使っている表現練習の量についての質問である（質問(12)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図 15 である。

図 15 「表現練習の量」に対する評価の比較



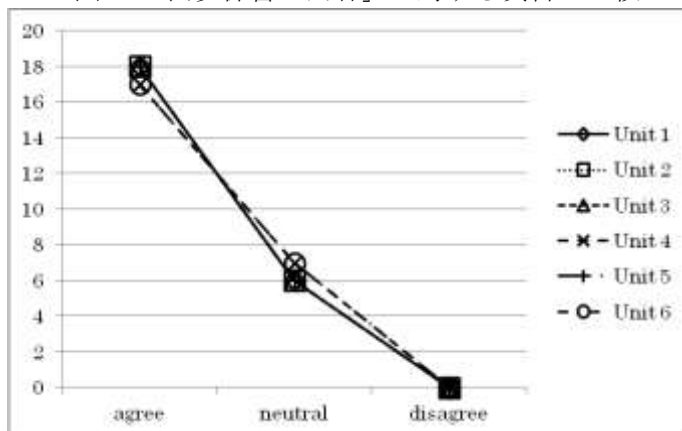
この表現説明の量については、全てのユニットで 70%（20 名中 14 名）以上が

“adequate”の回答をしており、先の例文の量を上回る満足度を得ることができた。

### 3.3.2.12 表現練習の内容について

その表現練習の内容について聞いたのが次の質問である（質問(13)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図 16 である。

図 16 「表現練習の内容」に対する賛否の比較



「表現練習の内容がいい」に“agree”の数は、unit 3を除いては70%以上（20名中14名）以上になった。unit 3は55%（20名中11名）であったが、“disagree”を見てみると、全てのユニットで5%（20名中1名）以下となっており、決して満足度が低いという訳ではなくむしろかなり高いと言えよう。

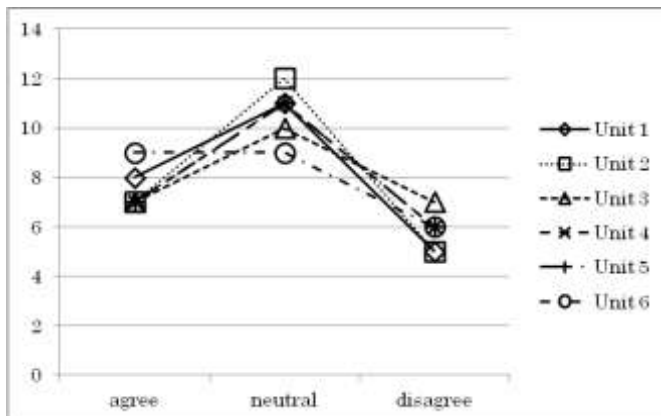
### 3.3.2.13 聞き取り練習の効果について

最後の2つは、聞き取り練習に関連した質問である。聞き取り練習は、ダイアログを録音したものを学生に聞かせ、空欄を聞き取って埋めていくというディクテーションの練習をクラスで実施したり、宿題として学生に自宅でやらせたりしている。アンケートでは、「練習の効果」（質問 14）、「会話の速さ」（質問 15）の2項目について尋ねた。「聞き取り練習の効果」に対する評価のユニット毎の比較を表すグラフが図 17 である。

どのユニットにおいても「聞き取り練習は効果がある」に“agree”の数が“disagree”の数を上回ってはいるか、同数である。しかし、“agree”が絶対的に多いと言える差はなく、「表現説明の満足度」（図 13）に比べて満足度が低いと言える。聞き取り練習は、

クラスで行う時間がなかなか取れず、学生の自習に任せる場合が多くなっていることも、この結果に影響を与えている可能性がある。

図 17 「聞き取り練習の効果」に対する賛否の比較

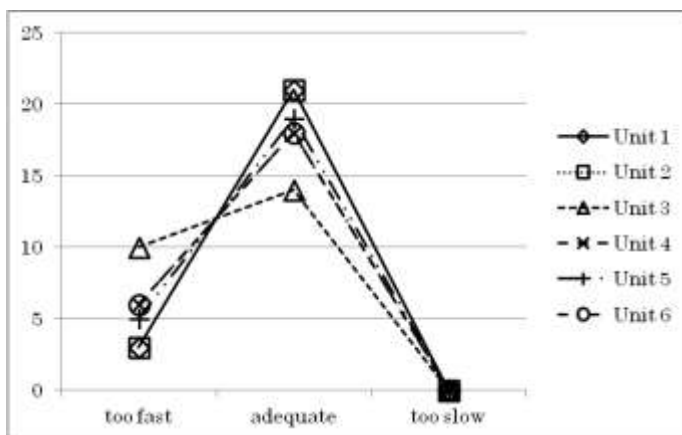


### 3.3.2.14 聞き取り練習の会話の速さについて

図 19 は、「ダイアログの会話の速さ」に関するグラフである。「会話の速さが、fast だと思うか、adequate だと思うか、slow だと思うか」を尋ねた結果のユニット毎の比較になっている。

会話スピードは、ほぼ natural speed で録音をされているが、Unit 3を除き、どの Unit でも “adequate” の回答が 75% を超えており、会話の速さについての不満は見られないようである。

図 19 「聞き取り練習の会話の速さ」に対する評価の比較



### 3.4 結果のまとめ

以上のアンケート調査の結果をまとめると今回の改訂対象となった Unit 6 を含め SPJ6 のモジュール型教材の学生による評価として以下のことが言えそうである。

- (1) トピックとしては、日本のマナーなど文化的側面に興味が強く、ビジネス関係には興味が薄い。ただし、これは学生の質にもよるので引き続きの調査が必要である。
- (2) ダイアログの長さや難しさには問題がないが、単語の数は、1 ユニット当たり 50 前後に絞り込んだ方が良さそうである。覚えるべき単語とそうでないものをつけて提示するなどの方法が考えられる。
- (3) 表現練習に関しては、質、量共に満足度が高いが、単語の練習量はもう少し充実させた方が望ましい。
- (4) 表現の説明については、満足度が非常に高いが、ダイアログの録音音質は、あまり良くないようなので、もう一度録音をし直す必要がある。会話スピードを変える必要はない。

### 4. 今後の展望

今後取り上げて欲しいトピックの中には、近年、日本だけでなく全世界において異常気象や大災害が頻発しているせいか、“natural disaster”に関する関心が高かった。また、「日本食ブーム」のせいなのか、“cooking”を挙げる学生も数名いた。これらのトピックを含め、学生のニーズと世界情勢、日本情勢を鑑み今後共新しく取り込んでいくトピックを検討していく必要があるだろう。

### 5. おわりに

昨年行った Unit 1 の改訂に続き、今回の SPJ6 の教科書の Unit 6 が改定されたことに合わせて、学生による教科書評価のアンケートを実施し、その結果を報告した。幾つかの改善点も見つかったが、前回と同様、全体的には学生の間の評判は高かった。その理由としては、今回の改定に際しても当てはまることだが、モジュール形式を取っていることで部分的な変更が容易に行えるため、学生のニーズに素早く適応できることにあると思われる。今後共、学生のニーズ調査を継続し、また、社会状況の変化なども考慮しながら、必要な改定を行っていくことが重要である。

また、前回のアンケート調査では、20 名、今回の調査では 24 名の回答を得られたに

過ぎないので、同様の調査を継続し、より多くのデータを集積し、教科書の改善に努めて行きたい。


#### 参考文献

岡崎敏雄（1989）『日本語教育の教材』 アルク

高屋敷真人（2012）「モジュール型教材による中級後期日本語教科書開発プロジェクト」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』 22 号 pp.119-133.

宮内俊慈（2014）「モジュール型中級後期教科書の学生による評価」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』 24 号 pp.49-69.

(smiyauc@kansai.ac.jp)



## SPJ6 教科書アンケート

Date

---

Please rate the following aspects of SPJ6 packets.

(1) 教科書全体

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
The packets of SPJ6 are good as a whole.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

---

(2) トピックはおもしろいと思う(The topic is interesting.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) ダイアログの内容(ないう)はいいと思う(The content of the dialogue is interesting.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(4) ダイアログの長さは?(The length of the dialogue is;)

	Too long	Somewhat long	Adequate	Somewhat short	Too short
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



(5) ダイアログの難しさは? (The difficulty of the dialogue is;)

	Too difficult	Somewhat difficult	Adequate	Somewhat easy	Too easy
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(6) 単語の数は? (The number of the vocabulary is ;)

	Too many	Somewhat too many	Adequate	Somewhat too few	Too few
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(7) 単語の難しさは? (The difficulty of the vocabulary is :)

	Too difficult	Somewhat difficult	Adequate	Somewhat easy	Too easy
Unit1 「LINE、やってる?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(8) 単語練習の量は? (The amount of the "vocabulary practice" is :)

	Too much	Somewhat too much	Adequate	Somewhat too little	Too little
Unit1 「LINE、やってる?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(9) 単語練習の内容はいいと思う。(The content of the "vocabulary practice" is nice.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(10) 表現の説明は、満足できる。(The explanation of expressions is satisfactory.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(11) 表現説明の例文の量は？(The amount of example sentences in the explanation is :)

	Too much	Somewhat too much	Adequate	Somewhat too little	Too little
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫？、主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(12) 表現練習の量は？(The amount of the "expression practice" is :)

	Too much	Somewhat too much	Adequate	Somewhat too little	Too little
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫？、主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(13) 表現練習の内容はいいと思う。(The content of the "expression practice" is appropriate.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(14) 聞き取り練習は効果があると思う。(The listening practice is effective.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「LINE、やってる？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(15) 聞き取り練習の会話の速さは? (The recording speed of the listening practice is :)

	Too fast	Somewhat too fast	Adequate	Somewhat too slow	Too slow
Unit1 「LINE、やってる?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit3 「夫?, 主人?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit4 「ユニクロ、MUJIは海外で成功するか」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit5 「インターネットは人類を幸せにしたか?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Unit6 「就活って何?」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(16) 今後取り上げて欲しいトピックがあれば、教えてください。  
(Tell us what kind of topic we should take on the SPJ6 packets in the future.)

(17) フリーコメント (SPJ6のPacketに関してどんな意見でもあれば言ってください)  
(Write any comments about the SPJ6 packets, freely.)